

令和7年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・手や体全体の感覚を働かせながら、活動を楽しんでいる。また、新しい材料や感覚を喜び、意欲的に関わろうとしている。
- ・活動しながら新たに表したいことを見付けようとしたり、想像を広げて表したいことを考えようとしたりしている。
- ・友達の良いところを見付けようとしている。

(2) 課題

- ・自分の考えに自信がもてず、発想を形にすることにためらいがある児童もいる。
- ・高学年に経験が足りず、表したいことに合わせて材料や用具を工夫することに課題がある部分がある。
- ・作品や活動に興味をもって鑑賞をするようになっているので、より自分の見方や感じ方を広げられるように促したい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表したいことを工夫して表せるように、手や体全体を十分に働かせながら、活動の中で知識や技能が得られるようにする。一学期は特に造形遊びを多く取り入れる。	つくりながら発想できるよう題材を工夫する。思い付いたことを次々に表せるよう題材を設定するとともに、場を工夫する。また様々な形態で鑑賞の場を設定し、楽しく見合うことができるようにする。	体全体の感覚を働かせられる題材を多く取り入れ、活動しながらつくり、つくりかえていけるようにすることで楽しく活動に取り組めるように促す。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表したいことを工夫して表せるように、手や体全体を十分に働かせて活動の中で知識や技能が得られるよう題材や学習過程を工夫する。	活動しながら発想できるよう題材を工夫する。思い付いたことを次々に表せるよう題材を設定するとともに、場を工夫する。また様々な形態で鑑賞の場を設定し、楽しく見合うことができるようにする。	体全体の感覚を働かせられる題材を多く取り入れ、活動しながらつくり、つくりかえていけるようにすることで主体的に取り組めるように促す。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使えるように、自分で考える幅の広い題材や活動を工夫する。また、十分ではない経験の分野の活動を取り入れる。	自分で考える幅の広い題材及び試行錯誤ができるような題材や場を設定し、支援する。また、造形的な特徴を意識できるように導入や鑑賞を工夫する。	児童理解に基づいた題材の設定をすると共に、経験の少ない造形遊び等の活動を増やし、つくりだす喜びを味わい、主体的に取り組めるように促す。